

日本ボーイスカウト 横浜第83団 入団・入隊 案内



WELCOME!

1. ボーイスカウト運動

- 1. 始まり
- 2. 目的と基本
- 3. 特徴
- 4. 組織と運営

2. 横浜第83団について

- 1. 所在地
- 2. 歴史
- 3. H25年度体制
- 4. 入団・入隊のステップ

3. 参考資料

- 1. H25年度年間計画
- 2. 入隊にあたって
(費用概要)
- 3. 世界/日本のボーイスカウトの歴史

日本ボーイスカウト神奈川連盟 横浜第83団

《Home Page》 <http://blog.ap.teacup.com/yokohama83/>

連絡先

- 代表 ; 細井副団委員長 (045-974-3073)
- ビーバースカウト隊 ; 佐々木隊長 (045-961-2086)
- カブスカウト隊 ; 大館隊長 (045-981-9248)
- ボーイスカウト隊 ; 港隊長 (045-511-7970)

1.ボーイスカウト運動

-1. 始まり



1907年、イギリスの退役将軍ベーデン・パウエル卿は、自らが隊長となって、ブラウンシー島において20人の少年たちと共に実験キャンプをし、「スカウティング・フォー・ボーイズ」という本を発行しました。

創始者ベーデン・パウエル卿（B.P 卿）は、インドや南アフリカで体験したことから考え出したさまざまな野外活動を通じて、少年たちが男らしさ（Manliness）を身につけ、将来、社会に役立つ人間に成長することを願って、この本を書いたのです。

現在では、世界131ヶ国1600万名が加盟する世界最大の青少年活動になっているボーイスカウト運動はこうして始まったのです。

B.P 卿は、『諸君は、自分で自分のカヌーをこぐのがよい。幼年

時代という小川から、冒険的な航海の旅に出発しようとしている。そして、やがて青春期という川にそって成人という大洋を渡り、自分の望む港へ到着使用とするのである。

カヌーとボートは全く違う。ボートは進行方向に目を光らすことでなく、船尾の舵取りに進行方向をまかせっきりである。しかし、カヌーは、君の目はいつも前方を見つめ、自分を常に前へ前へと前進させる。』と。少年時代だけでなく、もっと広い視野から自立した男らしい生き方を示しました。

ボーイスカウト運動の創始者は、B.P 卿ではありますが、この運動を起こしたのは、実は少年たちの絶大な熱望であったのです。「スカウティング・フォー・ボーイズ」が飛びように売れ、少年たちはこの本を夢中で読みました。そして読むだけではおさまらず、近所の大人たちに「僕たちもボーイスカウトになりたいから、隊長になって下さい。」と申し出しました。ですから、この運動は最初から少年たちの自発活動で始まったのです。

-2. 目的と基本

●財団法人ボーイスカウト日本連盟では、目的を次のように定めています。

ボーイスカウトの組織を通じ、青少年がその自発活動により、自らの健康を築き、社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、かつ誠実、勇気、自信、および国際愛と人道主義を把握し、実践できるように教育することを目的とする。

●同様、基本方針を次のように定めています。

ボーイスカウト運動は、ちかいとおきての実践を基盤とし、B.P 卿の提唱する班制教育と野外活動を幼年期より青年期にわたる各年齢層に適用するように、次のスカウトに分け、成人指導者の協力によってそれぞれに即し、しかも一貫したプログラムに基づいて教育することを基本方針とする。

- ・ビーバースカウト（BVS）隊 : 4才以上 ~小学2年8月
- ・カブスカウト（CS）隊 : 小学2年9月~小学5年8月
- ・ボーイスカウト（BS）隊 : 小学5年9月~中学3年8月
- ・ベンチャースカウト（VS）隊 : 中学3年9月~20才未満
(18才でVS/RS選択)
- ・ローバースカウト（RS）隊 : 18才以上 ~25才未満

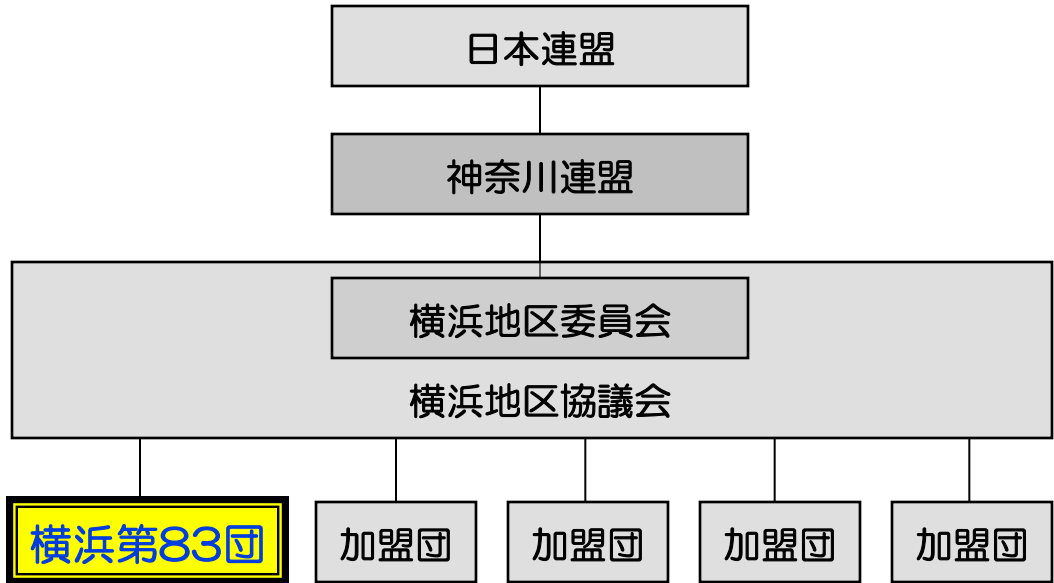
-3. 特 徴

ボーイスカウト活動は、人格・健康・技能・奉仕の4本柱に加え次の4つの特徴があります。

- ・ちかいとおきての実践（きまりを守る）
- ・班制度（パトロールシステム：小さい時からリーダーシップを学ぶ）
- ・進歩制度（バッジシステム : チャレンジ精神と誇り／はげみを醸成）
- ・野外活動（自然に学び、経験による個を育成）

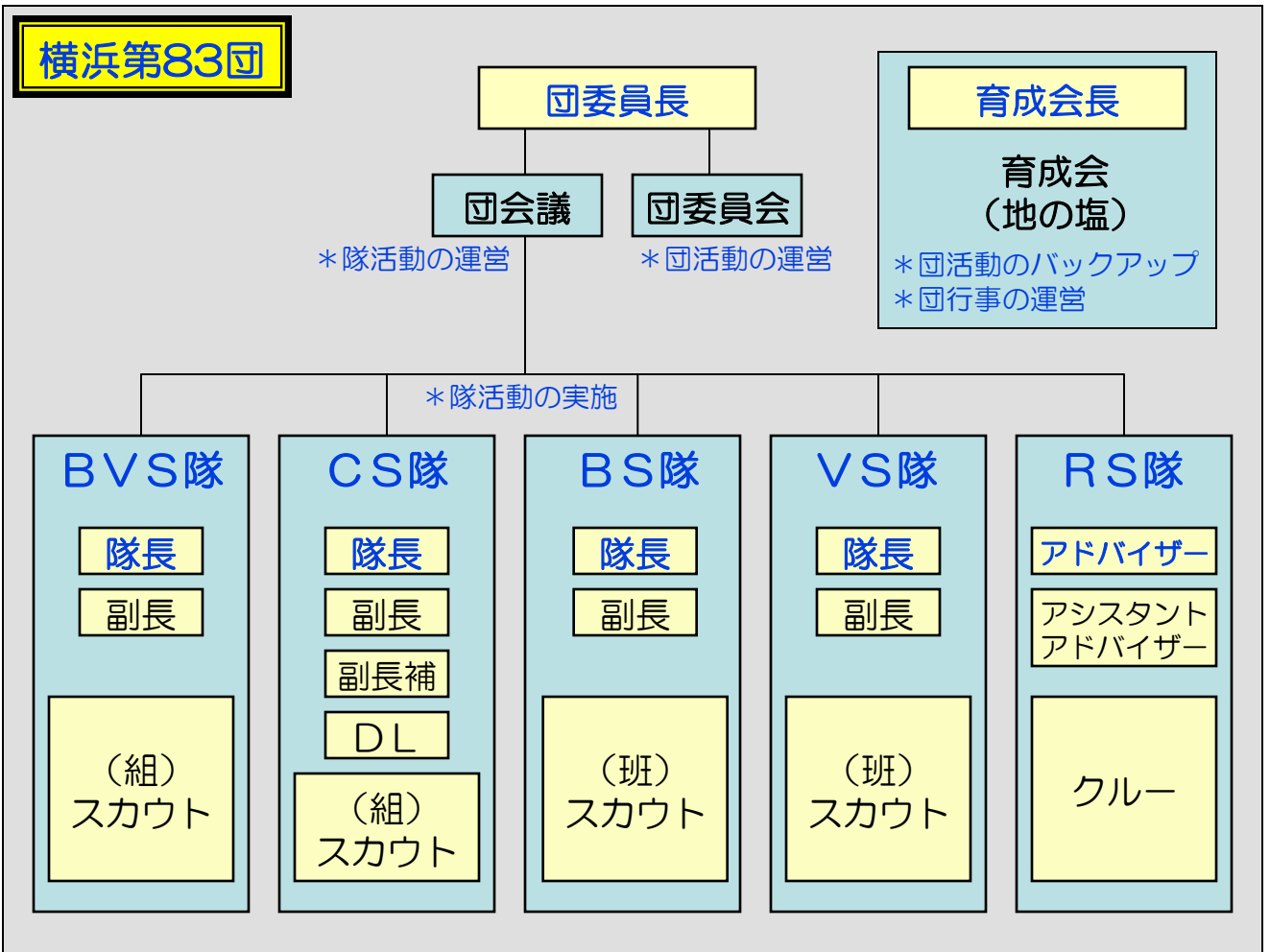
-4. 組織と運営

● 連盟と団の関係



* 横浜市青葉区青葉台近隣を拠点に活動。

● 団と隊の関係



2.横浜第83団について

-1. 団の所在地

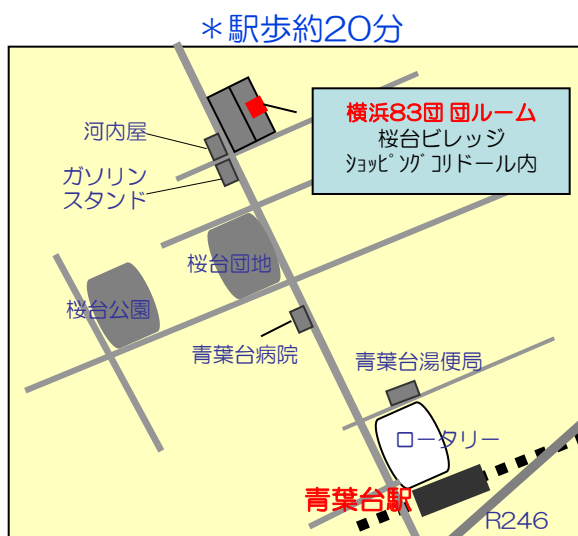
●住 所

(〒) 227-0061

神奈川県横浜市青葉区桜台 25-2-24

桜台ビレッジ ショッピングコリドール内

日本ボーイスカウト神奈川連盟 横浜第83団



-2. 歴 史

●発団の経緯

青葉台キリスト教会が、この青葉台の地に誕生してほぼ1年経過した1970年（昭和45年）秋に、当時教会を牧会しておられた伊豆牧師が地域との交流を求められ、また地域伝導の一環としてボーイスカウト運動を通し少年達への伝導の使命を感じられて、団設立準備にとりかかれた。関係各所への訪問や指導者講習会等への参加を通し、いよいよスカウト募集を実施したところ50名からの希望者が集まり、基礎訓練にとりかかった。

1971年（昭和46年）1月カブスカウト隊の年間プログラムが完成したところで、多くの友団地区コミッショナーの方々のご臨席を頂いて、教会礼拝堂において発団式が行なわれ、「横浜第83団カブスカウト隊」が発足した。また、団の支援団体である育成会は、名称が「地の塩」となり、こうして横浜市緑区に、初めての公認された団が誕生したのである。

●主な歴史

1971年（S46）発団（ナザレン教会）

（発団式）



1979年（S54）菊/隼スカウト1号

1981年（S56）発団10周年行事（藤が丘）

1982年（S57）団ルーム・野営場移転、教会団から地域団へ
（大貫氏のご厚意：青葉区榎が丘、いぶき野）
団章の変更



（初代団章）



（現在団章）



（いぶき野野営場）
（旧団ルーム）

1985年（S60）富士スカウト1号

1986年（S61）130団分封

1991年（H 3）20周年記念団キャンプ

（富士宮市猪之頭 多幸食堂）

（創立25周年記念祝賀会）

1995年（H 7）25周年記念団キャンプ

（山梨県須玉町 グリーソッツ）

団歌「顔が燃えている」完成



1998年（H10）はじめての女子スカウト

2000年（H12）30周年記念団キャンプ（山梨県牧丘町 乙女高原）

2006年（H18）35周年記念団キャンプ（山梨県 本栖湖）

2007年（H19）団ルーム・野営場移転

（青葉区桜台・西光寺のご厚意で西光寺山）

2010年（H22）40周年記念団キャンプ（山梨県 西湖）



発隊・上進式

合同夏キャンプ



団スキー

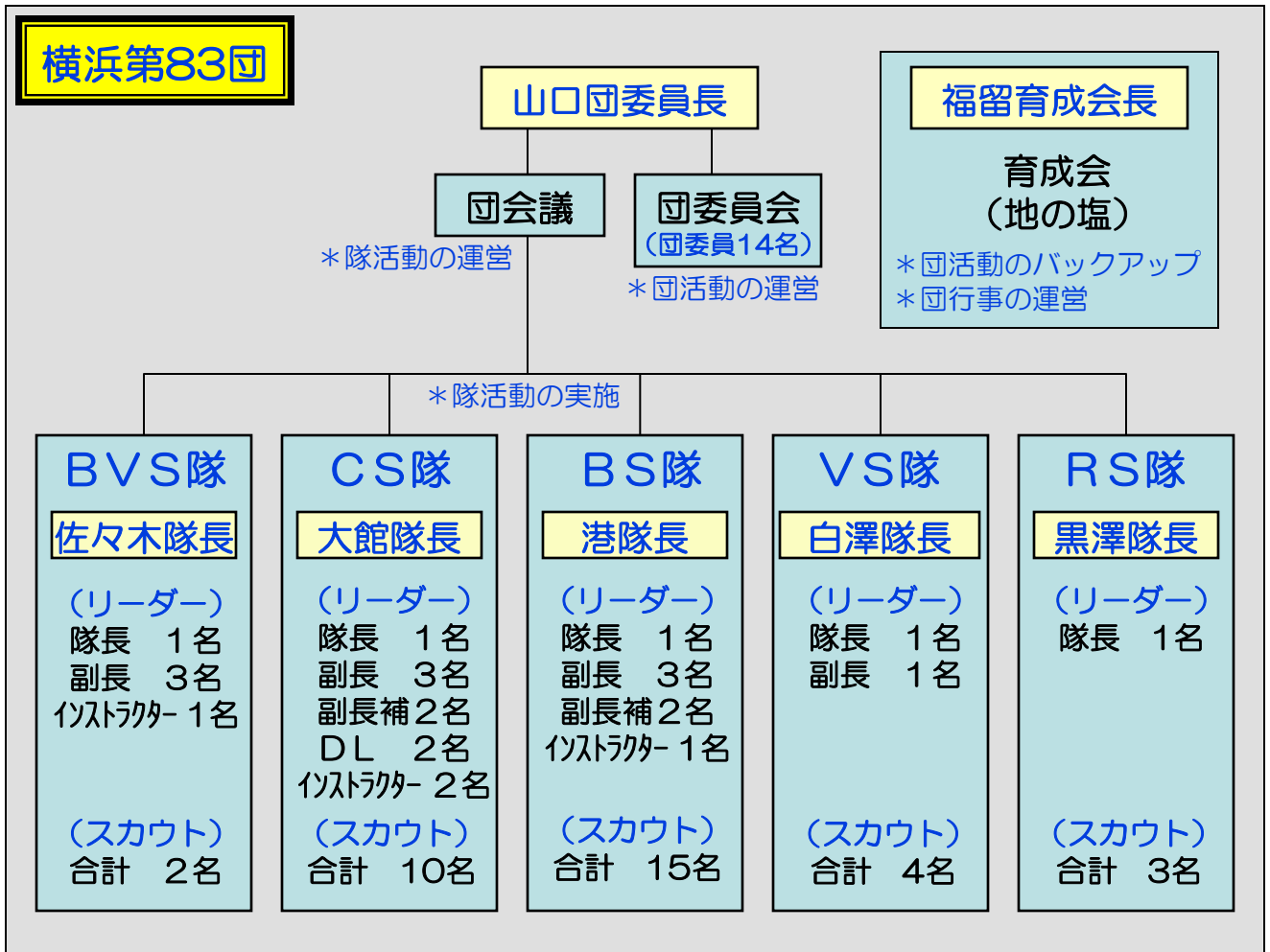
団バザー



ナイトハイク



-3. H25年度体制について



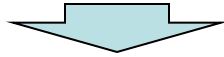
* 横浜83団は、この近隣では一番歴史のある団ではありますが、こじんまりとした、和気藹々とした雰囲気の特徴とした団です。横浜83団のモットーは「レッツエンジョイ」。月に2～3回、土・日・祭日を利用して工作やゲーム、ハイキング、キャンプなどの野外活動、共同募金などの奉仕活動を行っています。

* スカウト活動は、親子一体で活動し、自宅での取り組みも必要な活動です。ご父兄の方への活動への積極的参加を希望します。

* リーダー・育成会ともに全員が奉仕で活動しております。入団・入隊された以降、ご父兄の方には団もしくは隊の諸一の活動へご協力頂くこととなります。この点もご承知おき頂きますよう、お願いいたします。

-4. 入団・入隊のステップ

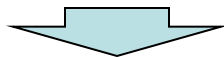
- まずは各隊長に連絡をとって頂き、活動や入団・入隊のことについて話をして下さい。



- 入団・入隊前に体験入隊をお勧めします。
これは、リーダーにとってはお子さんを知る事が出来るのと、お子さんと共にスカウト活動や仲間がどんなものかを知ることが出来ます。



- 入団・入隊がある程度固まったら、団委員長／育成会長と面談をします。
これは、入団・入隊に際し、スカウト活動の説明と共にご理解と協力を確認させて頂くものです。
 - ・お子様の状態や、ご父兄の考えていらっしゃることを聞かせて頂きます。また活動に対する相互理解をさせて頂きます。
 - ・特にご父兄は、お子様を単にスカウト活動に参加させるだけでなく、団の運営や隊の運営にご協力頂くこととなります。将来リーダーとなって頂くこともあります。また、入隊と共に育成会会員となり、育成会の活動にお手伝い頂きます。



- 入隊が決まりましたら、入隊式を目指していろいろな準備が必要になります。
 - ・制服や必要物および費用につきましては、次頁を参照下さい。詳細は各隊の隊長・リーダーにご相談下さい。
 - ・ちかいやおきてを覚える必要があります（例えばCS隊でしたら入隊前に「リスの道」という入隊前の修得が必要です）。これも各隊長・リーダーの指示に従って下さい。



- 入隊式でちかやおきてを宣誓して、はじめてスカウト入隊となります。

これで、お子様もご父兄も、永遠のスカウトとなりました！

3.参考資料

-1. H25年度年間計画表

H25年度のBVS隊・CS隊・BS隊の年間計画表を添付しますので
ご参照下さい。

-2.入隊時の概算費用（CS隊の例）

（費用について）

	※仮入隊扱い	
(1) 入隊時の費用	《4～12月入隊》	《1～3月入隊》
・入隊費	7,000.-円（入隊時のみ）	7,000円
・育成会83団チーフ	2,000.-円（入隊時のみ）	2,000円
・スカウト会館維持費	2,000.-円（入隊時のみ）	2,000円
・日連/県連/地区登録費	5,200.-円（年1回）	（4月に5,200円で正式登録）
（合計）	16,200.-円	11,800円

備考：*1～3月は追加登録手続きができないため仮入隊扱いとし、4月に追加登録して正式入隊となります。この際に5,200円が必要になります。

(2) 月々の費用

・育成会費	1,500.-円
・カブ隊費	1,500.-円
・夏キャンプ積立金	1,500.-円
（合計）	4,500.-円（3ヶ月毎に13,500.-円を集めます）

（入隊時の装備品）

(1) 制服など（合計；概算 12,000.-円）

- ・制服；半袖/長ズボンまたは半袖/長ズボン（8,400.-円～9,200.-円）
- ・カブキャップ；M～L L（900.-円）
- ・ストッキング；M、L（670.-円、740.-円）
- ・カブTシャツ；M～L L（980.-円）
- ・カブガーター；（200.-円）
- ・カブベルト；M、L（480.-円、500.-円）

(2) 装備品

- ・ハバザック；（3,200.-円）
- ・水筒；（3,400.-円）
- ・食器セット；アルミまたはプラスチック（市販品で可）

*制服・装備品は、銀座 松屋（7階）のボーイスカウトコーナー、もしくは
横浜高島屋（5階）のボーイスカウトコーナーで販売。

（活動時の装備品）

(1) 土（さむらい）道具；いつも活動に持ってくるもの（常備品）

- ・カブブック（隊支給）
- ・キャンプブック（隊支給）
- ・カブ歌集（隊支給）
- ・4mロープ（隊支給）
- ・筆記用具（B6ノート、鉛筆）
- ・ゴミ袋
- ・ヒップトーン（座る時の敷物、新聞紙をゴミ袋に包んで作る）
- ・軍手
- ・雨具（ポンチョまたは雨カッパ）
- ・ハンカチ
- ・ちり紙

(2) 水筒；野外活動時に持参（中身は水または湯ざまし）

(3) カブ弁；おにぎり2個、おしんこ少一、果物（指定時）

-3. 世界／日本のボーイスカウトの歴史

(世界の動き)

- 1857年――2/22ベーデン・パウエル誕生
(安政4)
- 1907年――20名の少年と実験キャンプを英国
(明治40) ブラウンシー島で実施
- 1909年――スカウティング・フォア・ボーイ
(明治41) ズ出版
- 1909年――無名のスカウトの善行でスカウト
(明治42) 運動がアメリカに伝わる
- 1910年――米ボーイスカウト連盟結成
(明治43) 英ガールガイド誕生
- 1912年――
(明治45)
- 1913年――
(大正2)
- 1916年――ウルフ・カブ (カブスカウト)
(大正5) はじまる
- 1920年――第1回世界ジャンボリー開催
(大正9)
- 1922年――
(大正11)
- 1924年――コペンハーゲン宣言
(大正13) スカウティングの原理を議決
- 1925年――
(大正14)

- 1928年――ガールスカウト世界連盟設置
(昭和3)
- 1935年――
(昭和0)
- 1941年――ベーデン・パウエル卿逝去 (83歳)
(昭和6)
- 1947年――
(昭和22)
- 1952年――
(昭和27)
- 1956年――
(昭和31)
- 1969年――
(昭和44)
- 1977年――ベーデン・パウエル卿夫人逝去
(昭和52)
- 1984年――
(昭和59)
- 1986年――
(昭和61)

(日本の動き)

- ――ベーデン・パウエル来日
- ――日本各地で少年団発足
- ――第1回世界ジャンボリーへ参加 (3名)
- ――少年団日本連盟設立
- ――連盟歌「花はかおるよ」採用
- ――第1回指導者訓練所開設 (東京)
2回指導者訓練所開設 (山中湖)
「ちかい・おきて」制定
- ―― (財) 大日本少年団連盟に改組
- ――ボーイスカウト日本連盟として再発足
- ――カブ、シニア、ローバープログラム開始
- ――第1回日本ジャンボリー開催 (軽井沢)
- ――ウッドバッジ訓練方式に移行
- ――第1回日本ニアスカウト大会 (日本バソチャー) 開催
- ――ビーバースカウト活動が正式に開始

平成25年度 活動計画（1）

月	団、育成会	ビーバー隊	カブ隊
9月	9 上進式・発隊式 17 スカウトの日 団倉庫裏整備 22 団会議 藤小支援	9 上進式・発隊式 17 スカウトの日 30 規律訓練	9 上進式・CS発隊式 17 スカウトの日・奉仕活動 30 隊集会・規律訓練、ロープワーク
10月	6 総会資料検討 8 育成会総会 20-21 JOTA、合同団会議	14 赤い羽根共同募金 21 JOTA見学	14 隊集会・赤い羽根共同募金 21 隊集会・青葉台公園ハイク
11月	3 青葉区民祭り 10 藤小まつり 17 合同団会議 23 焚火で焼! 交流わが-祭り 25 西光山火まつり	10 もえぎ野幼稚園支援 18 40周年記念行事 23 たきびでやきいも 25 西光山火まつり	3 隊集会・長津田まつり 18 地区行事・40周年記念行事 23 団行事・焚き火イベント 25 団行事・西光寺山火まつり
12月	2 みかん狩り支援 23 大掃除、団合同会議	2 みかん狩り 15 クリスマスキャンプ	2 組集会・クリキャン準備 15-16 隊集会・クリスマスキャンプ
1月	13 旗揚げ式、もちつき大会 19 団合同会議、登録説明会 26 旧緑区新年会	13 旗揚げ式、もちつき大会 20 たこ作り 27 スケート大会	13 団行事・旗揚げ式、餅つき大会 27 隊集会・スケート大会
2月	2 地区登録作業 17 地区登録、団合同会議	10 ハイク 24 料理大会	3 隊集会・春のハイク 17 組集会 24 グリーンラインスポーツ大会
3月	10 ジャガイモ植え支援 16 団合同会議 24 団ラリー・団まつり	10 ジャガイモ植え 17 団合同隊集会 24 団ラリー	10 隊集会・じゃがいも種いも植え 17 103・126・129団合同隊集会 24 団行事・団ラリー
4月	14 地区総会 21 団合同会議	7 お花見 21 動物園見学	7 隊集会 13 月の輪活動・ナイトハイク 21 組集会・一泊幕営準備 29 みなとまつりパレードリハ-サル
5月	3 港まつり 5 ベアレンツキャンプ 18 団合同会議 19 わんぱくキャラバン	12 ハイク 19 わんぱくキャラバン	3 地区行事・みなとまつりパレード 11-12 隊集会・一泊幕営 19 団行事・わんぱくキャラバン
6月	16 収穫祭、団合同会議	8 ホタル狩り 16 ジャガイモ収穫祭 30 ハイク	2 組集会 16 隊集会・じゃがいも収穫祭 22-23 月の輪活動・くまつりキャンプ
7月	7 西光山整備 20 団合同会議	7 海水浴 21 夏キャンプ準備	7 隊集会・江ノ島海水浴 21 隊集会 29 組集会・夏キャンプ作戦会議
8月	25 団委員会、団会議	未定 夏キャンプ	8-11 夏キャンプ 24 隊集会・くま追い出し

月	ボーイ隊	ベンチャー隊	ローバー隊
9月	9 上進式・発隊式 17 スカウトの日	9 上進式・発隊式 17 スカウトの日	
10月	20 新歓キャンプ（規律訓練）	サイクリング	
11月	23-24 合同キャンプ（130団）	遠征	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> * 月次隊集会 * 団行事等の支援 を中心とした活動になります。 </div>
12月	15-16 クリスマスキャンプ	15-16 クリスマスキャンプ	
1月	20 耐寒ハイク、スケート	進歩	
2月	15-17 スキー訓練（他団交流）	進歩	
3月	16-17 料理コンテスト	クライミング	
4月	13-14 ナイトハイク	ハイク	
5月	18*19 パイオニアリング	移動キャンプ	
6月	22-23 CS合同キャンプ	釣り	
7月	21 高尾山登山（備品点検）	16N J	
8月	30-9 16N J 24-25 打ち上げ	16N J	